

区政 Now ! (26年10月号)

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

お知らせ



暑さも落ち着き、過ごしやすい季節となってまいりました。
 荒川区は、日本創成会議が公表した将来人口推計において、2040年にかけての20～39歳女性人口の減少が23区で最も少ない自治体となりました。これは、今後も区では人口の減少があまり見られず、街の活力が維持されていくことを意味しており、区のこれまでの様々な取り組みにより、皆様から住みやすいまちと評価された結果ではないかと考えております。
 引き続き、子どもから高齢者まで笑顔あふれる、活力ある地域社会を築いていくため、子育て、教育、安全・安心、福祉など、様々な側面からの取り組みを進めてまいりますので、御理解、御協力をお願いいたします。

● さらなる子育て支援策の充実を図ってまいります

○ 私立認可保育園の開設支援を行います

- ◇ 保育施設利用定員の拡大を図るため、東日暮里6丁目に私立認可保育園の開設を支援します。開設は平成27年4月を予定しています。
- ◇ 今後とも、地域ごとの保育の需要を把握し、不足が見込まれる地域を中心に保育施設の整備等を検討してまいります。

○ 平成26年9月1日、日暮里に専門ハローワークがオープンしました

- ◇ 「マザーズハローワーク日暮里」と「日暮里わかものハローワーク」（場所：西日暮里2-29-3 日清ビル）がオープンしました。
- ◇ 2つの専門ハローワークと連携しながら、区民の皆さまの雇用と就労に対する支援策を強化し、就労と子育てが両立できるような環境整備に努めてまいります。



マザーズハローワーク内の様子

主な事業

● 日本創成会議の将来人口推計において、2040年にかけての20～39歳女性人口の減少が23区で最も少ない自治体となりました

- ◇ 民間研究機関である「日本創成会議」の「人口減少問題検討分科会」が公表した将来人口推計において、荒川区は、2010年から2040年にかけての20～39歳女性人口の減少が23区で最も少ない自治体となりました。これは、区の人口の減少があまり見られず、現在も20万8千人と人口が増加していることから、今後とも街の活力が維持されていくと考えられることを意味しています。

- ◇ 今回の結果は、皆さまに荒川区が住みやすい街として評価された結果ではないかと考えております。今後とも、様々な分野で区民の皆さまが住みやすい環境を整備することにより、活力ある地域社会を築いてまいります。

順位	区名	減少率	順位	区名	減少率
1	荒川区	-10.2%	13	目黒区	-32.3%
2	江東区	-12.0%	14	練馬区	-33.5%
3	江戸川区	-16.9%	15	文京区	-34.2%
4	大田区	-19.6%	16	台東区	-34.7%
5	墨田区	-20.8%	17	中央区	-35.2%
6	新宿区	-21.1%	18	葛飾区	-37.3%
7	品川区	-23.4%	19	中野区	-39.4%
8	世田谷区	-25.0%	20	渋谷区	-39.5%
9	板橋区	-26.6%	21	杉並区	-43.5%
10	北区	-29.8%	22	足立区	-44.6%
11	千代田区	-29.8%	23	豊島区	-50.8%
12	港区	-31.1%			

2010年→2040年の若年女性人口変化率

● 平成26年9月から、全小中学校においてタブレットPCを本格導入しました

- ◇ 平成25年9月から小学校3校・中学校1校の計4校でモデル実施してきたタブレットPCを、本年9月から全小中学校において本格導入しました。
- ◇ タブレットPCは、これまでの教科書やノート、黒板などと同様に、「授業ツール」のひとつとして、その特徴を活かし効果的な場面で活用するものです。
進化が続く情報化社会において、タブレットPCの全校導入は、児童生徒の確かな学力の育成を目指すと同時に、これからのグローバル社会をたくましく生き抜くために重要な役割を担うものと考えております。
- ◇ 今後、各学校における実践の積み重ねを踏まえ、益々の充実を図ってまいります。



タブレットを楽しく活用する様子



タブレットを使った算数の授業の様子

● 東京都が政府に、国家戦略特区の指定区域に荒川区を含む9区を追加提案しました

- ◇ 東京都は、既に千代田区や港区などが指定されている国家戦略特区の指定区域に、荒川区など新たに9区を追加するよう政府に提案しました。
- ◇ 荒川区は、世界の玄関口である日暮里駅及び今後駅前再開発を予定している西日暮里駅周辺を中心とする地区において、区内最大の交通結節点としての利便性の高さを生かしながら、国際的なベンチャー企業等の起業促進や外国人来街者向けのサービス提供などを進めることにより、国内外から人々が訪れる広域拠点を目指す提案をしております。
- ◇ 世界に開かれたまち「ARAKAWA」が実現し、世界とつながることで、荒川区の魅力を多くの方へ発信していきたいと考えております。

● 荒川区の自殺予防対策が朝日新聞の社説に掲載されました

- ◇ 平成26年9月17日の朝日新聞の社説に、荒川区の自殺予防対策が掲載されました。
- ◇ 自殺は、生活や健康問題、介護疲れ、うつ病など様々な要因が絡み合った結果として起こると言われています。荒川区では、4年前から自殺未遂の経験者への対応に取り組んでおり、自殺を図った人に対して保健師が面会を行い、個々の事情に応じて、生活保護、ハローワーク、地域活動等に繋ぎ、医療や福祉といった各分野の専門家が情報を共有しながら継続して関わることで予防に繋げております。
- ◇ その他、窓口や電話対応、訪問の際に区民の方のサイン（変化）に気づき、適切な相談機関へつなげるための研修として、全庁的にゲートキーパー研修を行ったり、自殺予防実務担当者連絡会を開いたりするなど、関連機関と連携を取りながら様々な取り組みを進めております。
- ◇ 「自殺は予防できる」という世界保健機構（WHO）の見解のとおり、多くの方々に荒川区の取り組みを知っていただき、悩みを抱える方々の力になれるよう努めてまいります。